



秋田県女性消防団ネットワーク会議

令和元年度秋田県女性消防団ネットワーク会議が一月二二日(金)イ
 ヤタカにおいて、女性消防団員、消防長、消防団長など約九〇名が参加
 し、開催されました。
 会議では、第二五回全国女性消防団員活性化青森大会に参加しての報
 告発表、普通救命講習の活動事例や災害現場に出勤した経験談などの発
 表がありました。



題 字
 初代会長 松野 盛吉
 定 価 1部 48円
 (購読料は年会費に含む)
 発行人
 〒010-0951
 秋田市山王四丁目1番2号
 秋田地方総合庁舎内
 秋田県消防協会
 会長 高橋 正尚
 電話 018-867-7320
 FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
 E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
 〒010-0951
 秋田市山王7丁目5-29
 株式会社 松原印刷社
 電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

報告発表

「第二五回全国女性消防団員 活性化青森大会に参加して」



小坂町町民課
 主事 成田 喜輝

「女性消防団員リーダー に参加して」



にかほ市消防団
 部長 佐々木恵子

「第二四回全国女性消防 操法大会に出場して」



秋田市消防団
 班長 松本 恵

活動事例発表

「私たちが行っている 普通救命講習」

応急手当普及員って何？
 応急手当指導員って何？

①制度の解説



秋田県総合防災課
 主幹 佐藤 良和

②活動内容発表



鹿角市消防団
 班長 安保 千夏



秋田市消防団
 班長 小沼 未佳

令和元年度全国統一防火標語

ひとつずつ いいね！で確認 火の用心



大仙市消防団
 班長 佐藤美佳子

③AED指導デモンストレーション



大仙市消防団&仙北市消防団

「災害現場での女性の役割」

現場に出勤して思うこと



仙北市消防団
 班長 西宮 三春

参加者の感想

鹿角市 班長 安保 千夏

今回は「応急手当普及員から消防団員へ」の題名で、初めて発表しました。自分の消防団活動のすべてを振り返りながら話したので、少しでもお役に立てれば良いと思います。皆さんの発表からも元気を頂きました。

大館市 団員 畠山 順子

他地域での活動の様子を垣間見ることが出来、有意義な会議でした。

また、地域により活動内容が大きく異なることに驚きもありました。受け身の活動のみでなく、提案をしていくことの大切さを学びました。

三種町 副分団長 石井 咲子

女性のパワーの素晴らしさを感じました。皆さんそれぞれ、仕事・家庭と忙しく過ごしている中で本当に頑張っているなと感じました。

団員の勧誘に力を入れてくれる所です。今度は、是非新人を参加させたいと思います。

八峰町 団員 花川 悦子

入団一年目、初参加です。救命講習での女性に対する指導や、災害現場では女性ならではの配りが求められるなど、女性だからこそできることがあるのだと思えました。

また、自分だったらできるだろうかと考える良い機会になりました。

男鹿市 団員 高橋 真理香

私は入団してまだ日が浅いのですが、今回参加して、日々の普及活動や実際の現場の話を聞いて、大変勉強になりました。

今後、様々な経験をするといいと思いますが、今自分ができることを考え、活動に生かしたいと思いました。

潟上市 班長 小野 千歳

佐藤主幹の欧米と比較した救命の解説は、応急手当の重要性、必要性を考えさせられ、普通救命講習に関心を持ってました。

地域のために何ができるかを話し合い、活動の輪を広げていきたいと思えます。

五城目町 団員 伊藤登紀子

今回の会議では、「女性ならではの視点」が、重要なポイントになっていると感じました。

活動内容は、多様な場面の対応方法について興味深い内容ばかりでしたので、今後の活動に生かしていきたいと思えます。

井川町 団員 武石 千春

今回「救命講習」の事例発表があるので参加しました。自分が指導する立場になった時、ちゃんと教えられるのか、分かりやすく伝えられるのか色々勉強になりました。

今後、地域全体に救命や防災活動をもっと広めたいと強く思いました。

由利本荘市 班長 佐々木教子

各団の発表は内容もすばらしく、参考になりました。講習会に参加するだけでなく、自分達で自主的に救命などの勉強をしていることでした。私達もテーマを設けて積極的に意見を出し、成長したいと思いました。

にかほ市 団員 細矢 正子

活動発表を聴いて、自分に足りない事は数々ありますが、まずは応急手当普及員として、きちんと指導できるようになりたいと思いました。

災害現場の体験を聴き、消防団の役目の大切さもよくわかりました。

大仙市 団員 茂木 未来

初めて参加しました。他地域の活動を聞き、参考になることが沢山ありました。

災害現場に出動したことがないので、仙北市の発表が印象的でした。

もしもに備えて、訓練講習は大切だと改めて感じました。

仙北市 団員 藤村 香織

報告発表や活動事例発表を参加者のほとんどが、熱心に聞き、うなずき、自分も色々参考にして、是非行動したいと思いました。

次回も参加し女性消防団の存在感をアピールしていきたいと思えます。

横手市 団員 工藤 美穂

一番に残ったのが、日本で応急手当実施率が低いということでした。この実施率を1%でも上げていけ

るように定期的に講習を受けて、企業や地域に広げていくことが大事だと改めて思いました。

湯沢市 班長 井上 清子

研修、大会、災害現場。活発な活動内容を聴き感心するばかりでした。

救命講習は、詳細な情報もあり、この会議で得たことを自分たちの活動に役立てられるよう、学習のきっかけをいただきました。



第二四回 全国女性操法大会 秋田市女性消防隊健闘

第二四回全国女性消防操法大会は、十一月一三日(水)、横浜市赤レンガ倉庫イベント広場において、全国四七都道府県の代表四七隊が出場し、軽可搬ポンプ操法による競技が行われました。

本県代表の秋田市女性消防隊は、第一九回大会(平成二十一年)以来の二度目の出場となりました。地元消防団をはじめ、穂積秋田市長など関係者が応援するなか、大健闘しました。



大会会場前にて



会長激励あいさつ

■全国大会に出場して



指揮者
木村 綾子

家庭と訓練の両立が本当に大変でしたが、絶対にどちらも妥協しない、との思いで、最後まで責任を持ってやり遂げることができました。家族の絆も深まり、本当によい経験をさせていただいたと思っております。

これからも、前向きに、誠実に、頑張っていきたいと思えます。



一番員
佐藤 友紀

昨年の県大会前から、操法自体を知らない私を辛抱強く指導してくださった消防職員の皆さん、盛り上げ、士気を高めてくださった消防団の皆さん、そして何より、出場メンバーに限らず、ともに日々の訓練に励んだチーム皆と「行けた人に見られることができない景色」を見られたことは、女性消防団員として私の誇りです。心から感謝しています。



二番員
松本 恵

沢山の方々から、応援と励ましを頂いたことが心の支えとなりました。

様々な経験を通して得た知識を今後の活動に活かしたいと思えます。共に頑張ってきた仲間と、大会に携わりお力添えを頂いた皆様に、心より感謝申し上げます。



三番員
渡辺 有美

緊張感が張りつめる中、一番隊として訓練の成果を披露することができました。様々なアクシデントを乗り越えられたのは、団員、家族、職場の理解があったからです。

指導頂いた消防本部の方々、応援してくださいました市長、消防本部、分団長の皆さん、多くの方々のおかげで大役を果たし、演技を終えた時には、熱い想いがあふれてきました。

この貴重な体験を忘れず、今後の消防活動に活かしていきたいと思えます。

今回、私はサポートメンバーとしての参加でした。全国大会までに色々なことがあったなか、力を合



隊員
伊吹 幸

補助員は、吸管を貯水槽に入れればよい程度に思っていました。なので県大会では大失態。全国大会までには、どんなに緊張しても体が動くようにすると心に誓い練習に励みました。おかげで緊張はしましたが、悔いのない操法になりました。



補助員
工藤 徳子

家族をはじめ、支えていただいた多くの方に心より感謝致します。全国大会では、自分の役割を果たすことができて良かったです。信頼と継続の重要性を改めて感じた二年間でした。この経験を今後の活動に生かしたいと思います。



四番員
大張 濃子

第24回全国女性消防操法大会成績表

順位	都道府県名	消防隊名	タイム(秒)	総合得点
優勝	熊本県	八代市本部女性消防隊	46.56	89.5
準優勝	佐賀県	唐津市女性消防隊	51.43	86.5
準優勝	山口県	和木町女性消防隊	52.02	84.5
優秀	三重県	伊賀市女性消防隊	53.01	81.5
優秀	埼玉県	三郷市女性消防隊	52.89	80.5
優秀	兵庫県	芦屋市女性消防隊	51.72	80.0

■上位の成績

せて乗り越えていく選手の皆に大きな力をもらいました。全国に向けて二年間頑張ってきた時間は、勉強になることが多々あり、今後の活動に是非活かしていきたいと思えます。



操法 ③



操法 ②



操法 ①

大会名	開催年度	出場隊	成績
第18回	平成19年	大館市	準優勝(2位)
第19回	平成21年	秋田市	17位
第20回	平成23年	横手市平鹿	操法中止
第21回	平成25年	大仙市	26位
第22回	平成27年	大仙市	18位
第23回	平成29年	大仙市	28位
第24回	令和元年	秋田市	27位

■過去の成績



競技終了後穂積市長と

令和元年度
消防団員指導員研修

秋田県消防学校



令和元年度消防団員指導員研修は、十一月一六日(土)、一七日(日)の二日間、秋田県消防学校(由利本荘市岩城)で開催され、一八消防団から三二名が参加しました。

研修では、幹部の心得、現場指揮・安全管理、防災対策・住民指導・災害情報収集伝達、消防団の活性化などの座学や訓練礼式、応急手当・普

令和元年度 消防団員指導員研修受講者名簿

消防団名	階級	氏名
鹿角市消防団	班長	割石賢一
北秋田市消防団	班長	九嶋一正
上小阿仁村消防団	副分団長	石上敏
能代市消防団	部長	佐藤保
能代市消防団	副分団長	桜田和浩
三種町消防団	副分団長	寺沢梶人
三種町消防団	部長	後藤一家
八峰町消防団	分団長	山本輝義
男鹿市消防団	部長	安田清美
男鹿市消防団	班長	山本晃嗣
潟上市消防団	部長	細谷千代志
五城目町消防団	部長	伊藤護
秋田市消防団	副分団長	山陰有一
秋田市消防団	部長	佐々木一祐
由利本荘市消防団	部長	須田充
由利本荘市消防団	部長	加藤豊
由利本荘市消防団	部長	木内健悟
由利本荘市消防団	班長	石塚崇
由利本荘市消防団	部長	村上憲四郎
にかほ市消防団	分団長	佐々木良二
大仙市消防団	部長	小松敏美
仙北市消防団	分団長	鈴木誠栄
仙北市消防団	分団長	戸村純厚
美郷町消防団	部長	高橋誠一
横手市消防団	副分団長	齋藤淳
横手市消防団	分団長	佐藤勝
横手市消防団	副分団長	大塚賢昭
横手市消防団	分団長	高橋藤悦
横手市消防団	副分団長	羽川衛征
横手市消防団	分団長	奥山裕寸
湯沢市消防団	分団長	菅原正則
羽後町消防団	分団長	小坂俊三

通救命講習、消火活動・救助活動などの実技を熱心に受講しました。入校式で、高橋正尚秋田県消防協会会長は、「消防団員の減少や高齢化等により、地域防災力の低下が懸念されております。他方、従来の経験や想定を超える記録的な災害が、いつでもどこでも発生するようになってきており、こうした変化に応じて、消防が果たす役割も多様化し、益々重要になってくると思われます。消防団を取り巻く状況は厳しいですが、皆さんの力強いリーダーシップで、住民の期待に応えて頂きたい。」とあいさつしました。



秋田県緊急消防援助隊が出動

活動報告

秋田県総合防災課

大量の土砂、至る所で寸断された道路網。台風一九号襲来直後の一日から六日間、甚大な被害を受けた宮城県丸森町で救援活動を行った秋田県緊急消防援助隊(延べ六一隊、二二八人)の活動状況を報告します。

同隊は、町の中心部から南に二km離れた中島地区で活動を行いました。

この地区は、阿武隈川支流が流木等でせき止められ、行き場を失った濁流が住宅地に流れ込み、道路が冠水し住民の避難に支障を来しました。

隊員からは、「現地の消防団員による現場への誘導や状況説明は、非常に有効で、ありがたかった。」との意見が多く寄せられ、地域防災力の中核を担う消防団員との連携を再認識した災害であったといえます。

■秋田県緊急消防援助隊の活動状況

【救助活動状況】

道路冠水や車水没で避難所に行けない丸森町住民の全救助者九七人中五一人を救助・誘導

一〇月一三日 丸森町中島地区三八人

丸森町飯泉地区 一人

一〇月一四日 丸森町中島地区一一人

丸森町飯泉地区 一人

計五一人

【行方不明者捜索活動状況及び

孤立者・住民の安否確認

一〇月一三日～一七日

丸森町中島地区、飯泉地区、館矢間山田地区、館矢間大館地区

【救急出動状況】

転院や自宅から急病の傷病者を搬送

一〇月一三日～一七日

搬送人員 八人

(内訳) 重症 二人

中等症 三人

軽症 三人



モリタ消防ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

シバラポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社
株式会社

能代消防センター
協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル3F FAX 018 (824) 3651

『令和2年出初式(観閲)』の開催日時等

令和元年12月2日現在

消 防 団	日 時	場 所
鹿 角 市	4日 11:00～	コモッセ正面玄関前
小 坂 町	4日 11:20～	明治百年通り
大 館 市	5日 9:00～	大町ハチ公通り
北 秋 田 市	4日 8:55～	北秋田市民ふれあいプラザ
上小阿仁村	4日 10:20～	健康増進トレーニングセンター
能代市(能代)	5日 9:15～	畠町通り
能代市(二ツ井)	5日 8:20～	北都銀行二ツ井支店前
藤 里 町	4日 9:45～	藤里町役場前
三 種 町	4日 9:30～	三種町琴丘総合体育館駐車場
八 峰 町	5日 9:30～	秋田銀行八森支店前
男 鹿 市	5日 12:50～	秋田銀行男鹿支店前
潟 上 市	4日 13:30～	天王総合体育館(式典のみ)
五 城 目 町	5日 9:00～	朝市駐車場
八 郎 潟 町	4日 13:30～	八郎潟町役場前
井 川 町	6日 10:00～	農村環境改善センター前
大 潟 村	6日 10:00～	サンルーラル大潟(式典のみ)
秋 田 市	5日 10:00～	秋田市消防本部前
由利本荘市	5日 9:30～	由利本荘市役所前
にかほ市	5日 13:30～	金浦体育館(式典のみ)
大 仙 市	5日 13:00～	大曲市民会館前
仙 北 市	6日 13:20～	仙北市民会館駐車場
美 郷 町	4日 14:30～	総合体育館リリオス前駐車場
横 手 市	5日 13:00～	横手市役所条理南庁舎前
湯 沢 市	5日 15:20～	湯沢文化会館前
羽 後 町	5日 13:30～	総合体育館(式典内で実施)
東 成 瀬 村	4日 14:00～	村民体育館(式典内で実施)



「写真」秋田県提供

第三回「若手消防団員 活性化推進会議」

一月二十九日(金)、秋田市消防本部会議室において、第三回若手消防団活性化推進会議を開催しました。当日は、六名が出席しました。会議では、来年度に行う若手消防団員を対象とした行事の内容や開催時期について協議しました。その結果、次のとおり開催することとなりました。

- ・ 開催日 令和三年二月六日(土)
- ・ 開催場所 秋田市
- ・ 対象者 各消防団から概ね四五歳までの団員一名
- ・ 内 容
 - ① 講演 全国の消防団員の現状と課題(仮題)
 - ② グループディスカッション

このほか、来年度も現委員が続投することが了承され、来年度第一回の推進会議を七月に開催することが了承されました。

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高 義 商 会

- (営業種目)
- トーハツ小型動力ポンプ
 - モリタ自動車ポンプ
 - ジェットホース
 - 消防被服全般
 - 火災報知器各種
 - 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 ギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバウラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

支部情報アラカルト

「若手消防団員意見交換会」を開催

を 開 催

一月三日(日)北秋田市民ふれあいプラザにおいて、北秋田市若手消防団員の意見交換会が開催されました。

消防団に入団し、まだ勤務年数が少ない団員からの活動に対する不安な意見があり、他の分団の若手も集め意見交換することで、今後の活動に生かすために開催されました。

一三分団から一、二名の若手の団員を推薦していただき、開催されました。

意見交換会では、三つのグループに分かれ、次のおり意見を交換しました。

◇ 入団したきっかけは、地域の方から勧誘された、または分団長から勧誘された。

入団して良かったことは、地域とのつながりができた。地域に貢献しているという充実感が得られた。

◇ 活動に対する意見は、様々な行事や災害等をラインを使用し連絡すればよいのではないか。

また、ポンプ操作訓練について、操作する人が決まっているが

入団したての人にも説明して欲しい。ポンプ操作の他にも、ホースと筒先の結合等基本操作も教えてもらいたい。

◇ 消防団員加入促進については、同年代の人を勧誘しなければ、一人では入りづらい。

また、小中学校の課外授業で消防団をPRできる動画を作製すればいいのではないかと、様々な意見が活発に発表され、今後の消防団活動に活かされ、若手の消防団員が増えることが期待される研修会となりました。



「住宅用火災警報器 取り替え推進運動・消防団員 加入促進運動」を開催

一月三日(日)、いとくショッピングセンターにおいて、北秋田市消防署員、第一三分団女性消防団員、北秋田市観光協会と合同で、住宅用火災警報器設置と適切な維持管理、消防団員の加入促進を行うことにより、地域住民の防災意識の向上を図ることを目的に開催しました。

家族連れが多いショッピングセンターで行うため、北秋田市ゆるキャラ「バタもっち」、北秋田市阿仁地区のマタギ文化をPRする「イケメンマタギ」を活用することにより、子供たちを



活用することにより、子供たちを



はじめ幅広い年齢層に関心を持っていただきました。

また、「バタもっち」も登場し、子どもたちをはじめ、幅広い年齢層に火災予防の普及啓発、消防団員の加入促進につながる活動になることを期待しております。



(情報提供) 大館北秋田支部

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	令和元年		平成30年			同期比較	
	11月	累計	11月	累計	年計	11月	累計
建物	13	176	13	144	166	0	32
林野	0	32	0	14	14	0	18
車輛	6	30	5	38	39	1	- 8
その他	0	92	1	67	72	- 1	25
合計	19	330	19	263	291	0	67
死者数	2	16	1	15	18	1	1
負傷者数	9	73	3	38	46	6	35